

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	アクティヴコミュニケーション				
担当者氏名	アレックス M. 林				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	1年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-1 国際社会に貢献できる人材育成 ◎ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上				

《授業の概要》

基礎的な会話の技術と能力の習得をめざし、会話に必要な文章表現の英作文の構成能力を伸ばす。会話に必要な英文のスピーキングの実践練習を行う。「実際の英会話」に焦点を当てると、次には4技能のなかでのヒアリングとスピーキングの能力も養いたい。まず英語に慣れることが根本で、発音の矯正から始め、聞き取りを十分練習し、英語のコミュニケーション能力の向上を目指す。

《授業の到達目標》

1) 使える会話表現をスピーチできるように訓練する。2) 英会話に必要な文章の作文力を養う。(添削により文章構成力のチェックとリーディング指導) 3) 発音を矯正し実際にスピーチしてシチュエーションに応じた場面の実践練習を繰り返す。4) 会話表現が時、場所、機会に応じて自己表現ができるように実践する。5) 英語で英文を読むことで、その背景にある文化、習慣の違いを理解したい。

《成績評価の方法》

プレゼンテーション70% 課題30%
 その他、積極的かつ自発的な授業参加意欲、授業中の発言、発話も評価対象に入れる。

《テキスト》

Let's Cross Culture! (朝日カルチャー出版)

《参考図書》

国際理解・異文化学習「英会話の体験クイズ33選」(明治図書出版)

《授業時間外学習》

予習1.5時間、復習1.5時間を要する内容

《備考(教員経験の有無)》

イギリスの大学、大学院、ニュージーランドの大学教員経験、小中のALT講師としての経験、・ラジオ子ども英語プログラム制作・講師、文科省より全国の新任ALTへの指導経験

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	ガイダンス	ガイダンス (コロナ禍での授業のあり方も含めた授業紹介も行う)
2	発音クリニック	英語のリエゾンについて
3	発音クリニック	英語の子音、母音について
4	発音クリニック	英語のオクターブ、スピードについて
5	あいさつ	自己紹介、実践スピーキング練習(基礎的な英作文で、文章構成能力の向上)
6	スピーチ練習	ダイアログ(基礎的な英作文で、文章構成能力の向上)(1)
7	スピーチ練習	ダイアログ(基礎的な英作文で、文章構成能力の向上)(2)
8	スピーチ練習	ホームステイを設定した一日の会話(基礎的な英作文で、文章構成能力の向上)
9	Q and A練習	語学研修を設定した英会話の実践スピーキング練習
10	アクティブコミュニケーション(1)	題材をもとに英語によるコミュニケーションを実践(1)
11	アクティブコミュニケーション(2)	題材をもとに英語によるコミュニケーションを実践(2)
12	アクティブコミュニケーション(3)	題材をもとに英語によるコミュニケーションを実践(3)
13	アクティブディスカッション(1)	題材をもとに英語によるディスカッションを実践(1)
14	アクティブディスカッション(2)	題材をもとに英語によるディスカッションを実践(2)
15	授業内容の総まとめ	授業内容の総まとめ